

# 果糖加ブドウ糖V注射液25%

## 【本質の説明又は製造方法】

最近、生化学の進歩にともない、糖質(炭水化物)の代謝について新しい知見がたびたびと明らかにされてきました。

とくに果糖については、その代謝がブドウ糖と異なり、インスリンの存在を必要としないこと、また生体エネルギー源としても優れていることなどが認められています。

本剤は、従来より汎用されてきましたブドウ糖注射液に、高純度の果糖を配合したもので、ブドウ糖及び果糖の特長を併有するものであり、より広い範囲の臨床分野への応用が期待されます。

## 【成分及び分量】 本品100mL中

成分	分量
ブドウ糖	20g
果糖	5g

## 【効能又は効果】

栄養補給、利尿、ケトージスの治療

## 【用法及び用量】

通常、体重1kg当たり下記1日量を静脈内に注射する。

牛: 1.5~5mL

## 【使用上の注意】

### 「基本的事項」

#### 1.守らなければならないこと

(一般的注意)

・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

・注射器具は滅菌されたものを使用すること。

・小児の手の届かないところに保管すること。

・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。

・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

## 2.使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(牛に関する注意)

・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

・急速・大量投与は、電解質喪失を起こすことがあるので、症状を十分に観察しながら投与速度を注意し注射すること。

(取扱い上の注意)

・寒冷時に大量に静脈内投与する場合には、本剤を体温程度に温めること。

## 「専門的事項」

(重要な基本的注意)

・静脈内注射する場合に速度が速すぎるとまれに振戦又は嘔吐することがあるので、注射速度はできるだけ遅くすること。

・血栓静脈炎を起こすことがあるので、慎重に注射すること。また、できるだけ緩徐に注射すること。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 500mLプラスチックバイアル

## 【製品情報のお問い合わせ】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元



日本全薬工業株式会社

ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。